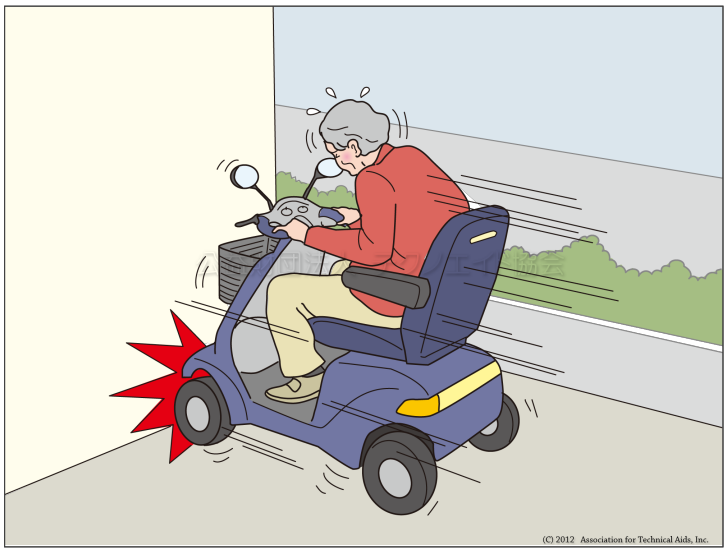
Case：168

ブレーキのつもりでアクセルレバーを押してしまい、壁に激突してケガをしそうになる

場面の説明

操作に慣れておらず、ブレーキのつもりでアクセルレバーを強く握ってしまい、壁にぶつかりそうになった



利用シーン	移動 外出
主な利用場所	その他
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122124 (電動三輪車・電動四輪車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

ハンドル形の電動車いすは、手動で動かす時のためにブレーキが装備されていますが、電動での運転中はアクセルレバーから手を離すだけで停止するため、ブレーキの操作をする必要はありません。しかし、緊急時にあわててしまい、ブレーキと誤ってアクセルレバーを強く握りしめてしまうことが原因となる事故が発生しています。緊急時にもあわてず正しい操作ができるよう、常に落ち着いてゆっくりと操作することが安全の第一歩です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：身体が勝手に反応して、とっさに握ってしまった
モノ：慌てた時にとっさに握りやすい位置にアクセルレバーが付いていた
モノ：アクセルレバーとブレーキレバーの区別の表示が判別しにくかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.